

インターバンクの声（2016 年 4 月 20 日）

アジアに続いて欧州でも株高となり、原油価格も継続的に40ドル以上で取引されていたこともあり、市場のリスク回避姿勢は後退したままの状態が続いている。資源国通貨の上昇が続き、なかでも豪ドルは1月に0.68ドル台で取引されていたことなど半分忘れかけていたが、3ヶ月間で1000ポイントも上昇している。ディーラー心理からすれば約1年前に付けた0.80ドルを一回見に行きたいところだが、昨日の豪中央銀行(RBA)の議事要旨から当局の豪ドル高への懸念が窺え、足許の水準からの上値追いは少し気を付けたほうが良さそうだ。週末にあったG20、IMF・世銀総会や産油国会合といった注目イベントの結果にやや失望したため、週初は107円台に下げたが、そこからドルが反発している。4月15日に付けた109円73銭が取り敢えずの目標だが、あと20～30銭の水準まで来るものの、もう一步が難しい。ニューヨーク市場でもドル買い継続を諦め反落したが、109円で踏み留まった。相場材料に乏しい中での110円超えは少し難しそうだ。

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。